

都小音研

令和2年7月15日第62巻435号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都稲城市矢野口3635
稲城市立南山小学校

つながろう ～今こそ 音楽を～

東京都小学校音楽教育研究会
会長 峯岸 敦子
(世田谷区立八幡小学校長)

令和2年5月、前任の石橋悟会長の後任として、東京都小学校音楽教育研究会会長という大役を引き継ぎ、その重責を感じるとともに、本研究会のために力を尽くす決意を新たにしています。本来ならば総会のもって選出され、対面し皆様にご挨拶申し上げるところでございますが、3月・4月・5月と臨時休校、6月の分散登校による学校再開という中でそれも叶わず、紙面による就任の報告となってしまいました。

そして現在も新型コロナウイルス感染症は収束せず、感染拡大の第2波、第3波が心配される中、学校教育そのものの在り方を問い直すところから、濃厚接触を避けた音楽授業の実際を模索するところまで、様々なところで教育の問題が話題に上げられています。突然の全国一斉休校、緊急事態宣言で、学校は未知の対応に追われ、無力感を感じた人も多か



ったと思います。世の中の情勢がそのようなときに、私は現在の学校に異動となりました。子供不在の学校で、本年度より全面実施の「新学習指導要領」に基づく教育をどう実現するのか、家庭学習への支援をどのように行うのかなど、教職員総出で考え、今できることは全て行う、ということに力を尽くしています。おそらく、各校がそれぞれ創意工夫し、「学びの保障」を考えた取組を行っていると思います。この努力の日々で心を癒してくれたのは、周りを取り巻く自然の動植物と音楽でした。

本校は「世田谷区玉川田園調布」にあって、校地内に「八幡ファーム」という都心にしては広い学習園があります。ウィーンのハイリゲンシュタットの森を散策してインスピレーションを得たというベートーベンさんながら、毎日この八幡ファームを散策し、考えています。対面で歌唱すること、息を使う楽器を演奏することが制限され、マスク着用の上でも楽しい音楽の授業をどのようにつくるか。現場の音楽教師は感染症を恐れながら、音楽を楽しむ子供を育てるために何ができるのか、悩みながらも、授業を工夫することをあきらめていません。

都小音研の会員の皆様が各校で様々な対応をし、授業を行うことが、現段階での最優先課題であり、密集・密閉・密接による感染のリスクにより、多摩南ゾーン大会の開催を紙面発表に変更するという決断に至りました。これまで、研究発表に向けて熱心に取組を進めてこられた調布市・府中市・狛江市・稲城市・多摩市・八王子市の先生方並びにご理解とご支援をいただいた各市教育委員をはじめ関係者の皆様に、この場を借りて感謝申し上げるとともに敬意を表したいと思います。そして、貴重な実践の記録となる研究集録を今後の音楽教育に生かしていきたいと思ひます。

学校が再開した今、子供の声からも分かったことは「学校っていいなあ」「学んで楽しいなあ」そして「やっぱり学校は必要だ」です。これは「音楽っていいなあ」「音楽の時間って楽しいなあ」そして「やっぱり人生に音楽は必要だ」に言い換えられるものです。新型コロナ禍を乗り越え、東京都小学校音楽教育の充実発展のために、会員相互の力を結集し、ともに楽しい音楽の授業をつくっていきましょう。

令和2・3年度 都小音研役員・運営機構 紹介

会 長：峯 岸 敦 子 (世田谷・八幡小)

副 会 長：坂 倉 理 恵 (八王子・鹿島小)
 小 池 義 和 (葛飾・南奥戸小)
 齋 藤 智 子 (足立・青井小)
 村 山 博 子 (武蔵村山・第九小)
 宮 田 俊 明 (渋谷・猿楽小)
 玉 野 麻 衣 (世田谷・奥沢小)
 金 子 陽 子 (板橋・前野小)
 叶 こみち (北・八幡小)
 石 井 ゆきこ (港・芝小)

理 事 長：山 根 まどか (稲城・南山小)

副理事長：八 尋 崇 (江戸川・船堀第二小)
 山 中 佳 子 (板橋・若木小)

監 事：福 岡 峰 子 (多摩・聖ヶ丘小)
 早 川 修 一 (練馬・北原小)
 石 橋 悟 (江戸川・清新第一小)

庶務部長：根 本 潤 子 (新宿・花園小)
 副部長：山 田 まゆみ (江戸川・南小岩第二小)
 平 松 佳 子 (世田谷・給田小)

会計部長：桑 畑 多 恵 (三鷹・高山小)
 副部長：白 田 友 加 (江戸川・東川小)
 矢 代 真 由 (足立・花畑第一小)

研究部長：前 田 しのぶ (豊島・池袋第三小)
 副部長：中 山 純 子 (板橋・板橋第五小)
 半野田 恵 (立川・第三小)
 藤 田 基 (世田谷・京西小)

調査部長：榎 本 悦 子 (立川・柏小)
 副部長：小 室 有 香 (小平・小平第七小)
 南 部 直 子 (荒川・第二瑞光小)
 野 崎 眞 理 (文京・汐見小)

事業部長：脇 田 秀 男 (江戸川・葛西小)
 副部長：伊 藤 友 貴 (江戸川・下鎌田西小)
 井 上 奈 々 (荒川・尾久第六小)
 藤 井 小百合 (足立・花保小)

広報部長：安 達 夕希子 (荒川・第九峽田小)
 副部長：猪 瀬 守 恵 (葛飾・北野小)
 河 井 響 (練馬・練馬第三小)
 有 本 裕 美 (足立・千寿第八小)
 小 林 聖 (目黒・鷹番小)

各種研担当校長

指揮法：村山 博子	編 曲：山中 佳子
合 唱：宮田 俊明	音楽授業：坂倉 理恵
管 樂 器：小池 義和	合 奏：齋藤 智子
即興表現：石橋 悟	鑑賞指導：玉野 麻衣
邦楽教育：金子 陽子	電子楽器：八尋 崇

お知らせ

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、事業計画の変更があります。

1 多摩南ゾーン研究大会について

今年度の都小音研 第63回研究大会 多摩南ゾーン大会は、紙面での発表となりました。冊子の配布については後日お知らせします。

2 作曲コンクールについて

今年度の第57回作曲コンクールは、作品応募時期などを調整(延期の予定)しております。詳細が決まりましたら都小音研ホームページに掲載いたします。

3 西武A・Bゾーンと中央A・Bゾーンについて

以前から検討を重ねていたゾーン改編が今年度より実施されます。従来の西武A・Bゾーンは「西武ゾーン」に改名し、中央A・Bゾーンと共に組織区市が変更となります。

・西武ゾーン：練馬・清瀬・東久留米・西東京・小平

・中央Aゾーン：新宿・中野・杉並・武蔵野・三鷹

・中央Bゾーン：小金井・国分寺・国立・立川・

日野・東村山・東大和・武蔵村山

*太字斜体が西武Bゾーン・旧中央Bゾーンから参入した区市。

都小音研ホームページについて

今年度は新型コロナウイルスの影響で、学校現場では学校ホームページを介しての課題配布や教職員のオンライン会議など、これまであまり行ってこなかったことに急きょ対応せざるを得ない状況になっています。都小音研の活動も、総会をはじめとする様々な会議や研修会が開催できずにいます。

そこで改めてクローズアップされてくるのが、この都小音研ホームページです。ここには、都小音研会報、研究大会の案内、各種研最新情報やこれまでの歩み、作曲コンクールの要項・応募用紙などを掲載してきました。今後は、打ち合わせや報告・連絡の不足を補うため、会員向けに現状や検討事項等も発信していくことになると思います。新型コロナウイルスの対応がいつまで続くのかが不透明である以上、ホームページによる情報交換がますます重要になってきます。ぜひ積極的にアクセスし、迅速な情報収集の一助としていただければ幸いです。そして、発信者がより発信しやすく、閲覧者がより見やすくなるように、現在リニューアルの準備を進めています。ご期待ください！

★都小音研ホームページ

<http://www.tosyouonken.com>

または「都小音研」で検索してみてください。



編集後記

現在の世界の危機的状況は、教育界、とりわけ音楽教諭においては新たな学びの発想が必要となってきました。情報交換をしながら、こんな時だからこそ音楽!と思えるような場の提供をしまいいりましょう。皆様、ご自愛ください。(A)

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 峯岸敦子

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288